

115歳 日本の長寿記録保持者 男性長寿世界一

NHKテレビ 他
2012年10月16日

木村 次郎右衛門(きむら じろうえもん、
1897年(明治30年)4月19日 生まれ、京都府京丹後市在住)は、
2012年(平成24年)の誕生日以降現在、115歳で日本の最高齢者であり、
男性長寿世界一である。

世界最高令記録保持者……
ジャンヌ・カルマン(フランス人)
122歳164日(1875-1997)



次郎右衛門さんは、最も有名な長寿者の一人でもある。40年間郵便局で勤めた後、年金生活に入り、90歳までは農業を営んでいた。いまでは自宅にこもることが多くなったものの、体型を維持しようと努めている。食事も三食きちんと食べ、新聞もすべて読むという元気っぷり。

最大限、イチ、ニ、マル』120歳まで生きることを目標にしている

長寿の秘訣は、食事に気をつけることとしており、「どれほどおいしくても、節度を守るべし」と語る。

京丹後市によりますと、木村さんは、孫が14人、ひ孫が25人、やしやごが13人いて、1日の多くを寝て過ごしていますが、健康面に特に問題はないということです。

記録集の出版社が認定している、世界で最も長生きした男性は、デンマーク出身で1998年に亡くなったクリスチャン・モーテンセンさんの115歳と252日だということです。
木村さんは、ことし12月にはこの男性を上回ることになり、出版社は新たな記録の認定を検討しているということです。



やしやごの小田彰一ちゃんを抱く男性世界最高齢の木村次郎右衛門さん。
左は彰一ちゃんのお母さん、ひ孫の鮎美さん＝京都府京丹後市